

同志会報



鳥羽商船同窓会

三重県鳥羽市池上町1番1号
郵便番号 517-8501
TEL 代表 鳥羽(0599)25-8000
FAX 鳥羽(0599)25-8016
振替番号 00850-6-846

平成14年度第1回 ▶
支部長・本部理事
会議スナップ
(平成14年9月18日)



◀ 於母校「百周年記念資料館」内会議室

ノーベル賞のダブル受賞で久しぶりに明るい日本が醸し出されていますが、一方では「拉致」問題で「日朝」間に複雑な政治的問題が発生しております。また、国内の経済情勢は一向に好転の兆しが見られず、「小泉内閣」によるデフレ対策も、当初の姿勢からは相当後退した状況にあります。大手銀行の国有化の噂も囁かれる今日このごろですが、会員の皆様には、お健やかにご活躍のこと推察申し上げます。

最近「国立大学」法人化に伴う種々の問題が新聞等で報道されています。ご承知のように、東京商船大学及び神戸商船大学の名称が消えることは、「海国日本」の海運状況を象徴するよう思えて、一抹の寂しさを覚えます。

「高等専門学校」の法人化も本格的に始動し始め、さる八月二二日に文部科学省内に「国立高等専門学校法人化検討委員会」が設立され、すでに活動を展開しています。

学科改組に伴う工業系学科設置以来の大きな変革が、ここ数年以内に起こることは避けられません。

「国立大学」の法人化に際して発生している、大学間の統合、県境を超えた教育学部の統合、獣医学科の集中的統合等を考慮するとき、「高等専門学校」の統合、あるいは一部学科の集中的統合の提案もあるものと予想されます。かつての学制改革はいずれも母校の発展につながつきましたが、今回は全く見通しが立ちません。

法人化が母校にとつてマイナスな面がなるべく小さいことを祈っています。
二〇〇三年こそは、テロのない明るい兆しが見受けられる良い年としたいことを願つてご挨拶とします。

ご挨拶

会長 落合 弘明

本部報告

平成一四年度 第一回 支部長・本部理事会議

一、同窓会本部事務局の運営について

平成一四年九月一八日(水)、商船学科卒業証書授与式当日、母校の「百周年記念資料館」二階大会議室にて、会長以下役員二五名が出席して、本年度第一回の支部長・本部理事会議が開催されました。議題は、同窓会の将来問題と母校の独立行政法人化問題の二点で、落合会長の問題提起に対し、出席された各役員から種々意見が提案されました。

今回、落合会長が事前に議題に関する長文の文書を各役員に郵送され、当日それを討議するという形式をとったため、約一時間の会議は非常に熱のこもつたものとなりました。

以下に、議題に関する落合会長の問題提起と出席した役員の意見の概要を記します。なお、意見を発言された各役員のご芳名は割愛させていただきます。

会長の提案

二、同窓会本部事務局の運営について

本部事務局の主な仕事は、会員の動静把握・会費の徴収事務・総会業務一切・会報の発行と発送・会員の慶弔対応・会員の再就職・会員との対応・全船協との対応・会員名簿の発行・記念事業における募金業務・慰靈祭と合祀祭・会員及び家族との対応と、非常に多岐かつ多量の業務に亘ります。

これらの業務を遂行するために、多くの資金と人手を要することは申すまでもありません。

○まず資金面ですが、全寮制度の廃止・工業系への学科改組・女子学生の予想以上の増加等から学生の気質も一般高校と同程度という状況となり、その結果、若い同窓会員特に工業系会員の会費納入率が極めて低くなっています。

このような状況では、近い将来同窓会の財政破綻は目に見えてい

会創立六〇周年」を以って、本部を中心とした活動を停止し、支部単位の活動に切り替える。

○工業系のOBの意志如何によつて商船系と工業系を分けてはどうか。商船系の方は一体と思っているが。

○独立行政法人化の結果次第で分離も考慮してはどうか。現在は現体制を維持すべきである。

会費は、支部毎に徴収し、各支部毎の独立会計とする。

同窓会報・記念史等の発行は行わず、各支部が支部の活動報告を行

わざ、各支部に報告する。

同窓会本部事務局の在り方について

会員名簿の発行は、五年に一回程度、各支部から編集委員を選出し編集し、費用は各支部の構成員で負担する。

口、同窓会を商船系と工業系に分離し、それぞれ別個の活動を展開する。その際、三千万円の基金の分配については、工業系の会員の過去の会費納入状況から判断する。

ハ、分離した場合、会の名称は商船系が「鳥羽商船同窓会」を継承し、工業系については独自に考案してもらう。

出席役員の意見

以上の提案に対し、出席役員から次のような意見が寄せられた。

○誰が商船系と工業系を分けると云い出したのか。(会長回答ー私の所に手紙を出してきた人がいる。)

ア業務は全くの奉仕活動で、本業の教員としての業務の他に、

同窓会の事務一切を遂行することは、現在の会員数三、六〇〇名が更に増加すれば、ますます困難となる。

○京浜支部のOBに同窓会の将来の問題提起と出席した役員の意見を記します。なお、意見を発言された各役員のご芳名は割愛させていただきます。

イ、同窓会は平成一六年度「同窓会長の提案

科の若い卒業生はどうして分離の話が出てきたのか不思議がついています。学校事務機関のよくなき事務一切を全面委託する。但し委託費用については研究の余地があり、更に個人情報の管理面からの検討も必要となる。

ハ、秋田清会員のようないくつかの窓口に対する篤志家を会員の中から見つける必要がある。

ニ、本部事務局の在り方について

系と工業系に分離した場合の両面から考慮する必要がある。

も、現体制のまま、あるいは商船

事務局員の負担は全く無くなるわけではなく、ボランティアの意識を持つ必要がある。

また、支部を中心とした活動を展開する場合、支部長以下役員の負担が増加するので、ボランティアとしての奉仕活動に頼るほかない。

ハ、支部役員の任期も最低六年程度は必要と思われる。

出席役員の意見

○京浜支部の役員会で同窓会の将来を討論したが、結論は仲良しくなった。

○インターネットの時代だから本部事務の仕事を支部に回したらどうか。

○インターネットを利用して支部情報を本部に流す。

○商船系と工業系OBの同窓会に対する態度が根本的に違うのは、学校で教える内容が異なるから。

○本部の体制をしっかりと作る。

学校のOBの片手間では出来ないので、しかるべき人にお金を出して行う。支部に本部の仕事を回すということは京浜支部では無理。○支部総会の通知を五〇〇通出したが、工業系は住所不明が多い。○県の場合は外部の人を比較的自由に採用できるが、国の場合は難しいのか。

○本部が会員全体に対処するのは無理。大阪支部では会に熱心な人にだけ対応している。

○本部事務局を強化するには、本部の種々仕事の役割分担を決める。○国家公務員の種々制約なしに、本部事務局の在り方を検討する。○本部事務局に人を雇うのは避けた方がいい。解雇する時が大変。○個別の問題への対処方法を議論するのではなく、全般的なことを論ずるべきである。

○今までの議論は、すべて学校が存続するかどうかによる。独法化された時に、その先の同窓会のことを考え、平成一六年度までは現体制を維持する。

○高専の法人化の特徴は、国立大学のように単独で法人化されるのではなく、既に法人化された「海員学校」のように、核になる学校を地域毎に選定し、そこを中心としてグループ単位の法人化となる。その場合、母校は東海北陸地区の工業高専とのグループに入るか五商船高専でグループを構成するのかいずれかになる。

五商船高専の「校長会」では、前者の工業高専とのグループ化の方を選択する方向で進んでいる。

又、法人化に対しても、文部科学省の方針に従い、特に対応活動はしないとのことである。

○全船協は、商船高専の法人化について、学校が打ち出した方針をどのように同窓会がバックアップするかが重要であるとの認識である。又、もし商船五校が独法化に統一対応が出来ないとなれば、全船協は各校の同窓会を個別に支援するというもので、現実の実態を全く把握していないといえる。

○各校の法人化は、行政の一環として推進されようとしている故に、学校から同窓会や全船協に対する協力要請は無いものと考えざるを得ない。

○私は、商船高専が一体となつて五校とも「商船学科」を持ったまま法人化する手立てを探るべきだと考える。

現在の海運界への就職状況が悪く、という社会情勢を考慮する余り、

「商船学科」の統合問題が先走りしているよう思われる。いずれにしても、他校との統合たけは絶対に阻止しなければならぬ。

森・中村・鈴木・田中・世宮
本部事務局 S 53 E 44 N 42 S 38 N 金田 護 正牛場
江崎 隆夫 俊輔

会員の叙勲・表彰

平成一四年度秋の叙勲において、
左記の会員が栄誉を受けられまし
た。

九月一四日(土)、S2E・故
末藤政好氏(戦没者)の妹の井藤
千恵子氏が御尊兄を偲んで来校さ
れました。休日の為、本部事務局
の教官は不在で、本館日直者の女
子事務官が百周年記念資料館をご
案内しました。

○ 熱五等双光旭日章
S 1/12 E 山下 健作会員
三重県漁業協同組合連合会
表理事会長として、長年に亘り
三重県の漁業振興に貢献され
績に対し授与されたもので、
の三重県産業功労者表彰に繕
の栄誉です。

S 19/E 山下 健作会員
三重県漁業協同組合連合会
表理事会長として、長年に亘
り三重県の漁業振興に貢献され
績に対し授与されたもので、
の三重県産業功労者表彰に続
くの榮誉です。

の見学に際していたく感激され、南花にと「金一円」賜りました。後日、お札に「鳥羽商船同窓会六〇年の歩み」と「同七〇年の歩み」を送付しました。

なお、井藤氏は前回の同窓会報(一〇〇二年一號)にも掲載した故末藤政好氏のご令嬢の末藤好子氏に薦められて、来校されたものと思われます。

二、母校の法人化問題について

母校の独立行政法人化についての種々問題点を落合会長が説明された。その要点は、次のようなものである。

○本年八月二三日に、文部科学省内に「国立高専法人化検討会」が立ち上げられた、そして、具体的な法令内容や法人化後の運営の在り方が今年度中にまとめられるこ

○各校の法人化は、行政の一環として推進されようとしている故に、学校から同窓会や全船協に対す協力要請は無いものと考えざるを得ない。

○私は、商船高専が一体となつて五校とも「商船学科」を持つたま法人化する手立てを探るべきだと考える。

京浜支部長	京 浜	S 42 N	田中	三郎
静岡	S 26 E	掘三矢之助		
名古屋	S 42 E	竹川 俊幸		
四日市	S 37 N	中澤 昌信		
大阪	S 33 N	菅原 昌男		
神戸	S 32 N	奥 正夫		
京浜支部理事				
S 35 E	菱田			
本部理事				
S 26 N	松本	暢生		

出席者	会長	副会長	S 22 N	落合	弘明
S 27 E	S 36 N	S 24 N	19/12 N	根本	待井
千々波天信	松浦肇	信一		明	明

なお、会員の受賞に際しては、同窓会本部事務局で情報入手不能な場合もありますから、ご本人の場合は無論のこと、知人の受賞もぜひ本部にご連絡下さい。

卒業生のご遺族の母校訪問

九月一四日（土）、S2E・故末藤政好氏（戦没者）の妹の井藤千恵子氏が御尊兄を偲んで来校されました。休日の為、本部事務局の教官は不在で、本館日直者の女事務官が百周年記念資料館をご案内しました。

新聞・書籍を飾る 本会会員

★S36N
野崎利夫会員

朝日新聞の全国版朝刊に[be
on Saturday]という全紙
カラー印刷の特集記事が毎週大き
く報道されています。

客船「飛鳥」船長
の さき
野崎 利夫 さん(60)
た お

世界一周クルーズ指揮して7年目
船旅は話し、食べ、踊り、眺め、寝て

毎週その「プロントランナ」
すなわち「時の人」として有名人
が登場されます。

さる七月二〇日には「海の日」
を記念して、S 36 N 野崎利夫会
員が「飛鳥」船長として大きく取
り上げられました。

「世界一周クルーズを指揮して
7年目、船旅は話し、食べ、踊り、
眺め、寝て」という副題があり、

野崎会員の生い立ちから、鳥羽商船を卒業後の乗船履歴、危機管理における「船長の顔」の使い方、船客へのサービス等客船における諸問題が一ページに亘って述べられています。

わが国最大のクルーズ船の船長として、二〇〇三年の「世界一周航海」、二〇〇四年の「南極探検航海」を指揮されるとか。野崎会員のますますのご活躍を祈ります。

野崎会員の生い立ちから、鳥羽商船
船を卒業後の乗船履歴、危機管理体制
における「船長の顔」の使い方、
船客へのサービス等客船における
諸問題が一ページに亘って述べら
れています。

愛機で残したいとしの異国

還暦で柏・伊藤さん、



摄影·白谷達也

★S36E
伊藤孝会員

さる九月二六日、千葉新聞の朝刊に、「愛機で残したいとしの異国、CD-ROMの写真集に」という見出しで、S36E伊藤孝会員の還暦記念作品が紹介されました。伊藤会員と写真の出会いは、小學生時代にお菓子のおまけで当た

練習船時代と船会社に就職後に
世界各地へ、さらに船舶機器の商
社員として国内各地や「韓国」、
「中国」の造船所巡りをした時代に
撮りためた五〇年分の写真の中か
ら六〇枚を選び、CD-ROM写
真集「航跡」が完成されました。

で初めてロサンゼルスへボノルルを回った。「アリッジから像徳の帆船『日丸』を撮った。卒業後、外國航路の海運会社に就職。櫻井士として世界各地を巡った。8年後、船員機械の商社員に転職して、国内各地の造船所を回る事になった。だが、80年代半ばに造船の主力が韓国や中国に移るなど、伊藤さんはまた外団に出てかけぬことが多くなった。費用の力不足(?)なのだ。

柏市船橋機械商社参考、伊藤孝さん(6)が還暦の記念でパソコンでCD-ROM写真集「航跡」を作った。外国にあがれ、船を愛し、カメラを趣味として生きてきた誕生日に60枚の写真を収録した。仕事で世界へ
伊藤さんと写真の出会い　おまけで当たった日光　は　外國。
いは小学生の時。お菓子　カメラにはまつた。
は　外國。船橋商事の

使つたカメラは現在ま
で内蔵電池。バッテリ



原秀男

同窓会副船長

Chapter 53
photo: Masahiko Nakagawa
©2002 Nippon Shimbun

爽快ス。ボーツマンの副船長は 愛する家族が笑顔の源

本部にも一部贈呈して頂きましたが、なかなかの労作で、「全日本写真連盟」会員としての技術がようとしている会員はぜひご一考を。

連絡先は
〒277-0066
柏市東中新宿4-4-12-32

★S56N 原秀男会員

光っています。CD-ROMの写真集を制作しようとしている会員はぜひご一考を。

画面で多くの任務を担当するため極めて多忙な職務といえます。就航前一年間は社命でホテル学校へ。研修では三〇才でベルボイも経験したとか。昨年一ヶ月に挙行された母校の「創基一二〇周年記念祝賀会」が「鳥羽国際ホテル」で開催されたときは、「飛鳥」乗船中のため参加出来ず、運よくホテル沖合に停泊中であった同船橋から母校の発展を祈つて汽笛「長声一発」を発したとのこと。

同会員の副船長での一層のご活躍を祈ります。

★S55N 習田誠至会員

クルーズを楽しむ人々に愛読されている「船の旅」に、「The Seaman Spirit」という特集記事が毎月掲載され、本年一月号に、S56N原秀男会員が「飛鳥」副船長として紹介されました。

国内客船としては、「飛鳥」にしかない職名「副船長」とは、運航部門の統括、セキュリティ、接客、イベント等クルーズの表・裏

「船の旅」八月号「The Seaman Spirit」には、S55N習田誠至会員が、日本郵船系の外国籍クルーズ船「クリスタルハ

培つた機転と社交センスで 華麗なる客船の副船長に



習田 誠至

クリスタルハーモニー デュブティキャブラン

Chapter 56
photo: Masahiko Nakagawa
©2002 Nippon Shimbun

支部だより

北海道支部

支部長 桜井 明

「モニー副船長」として紹介されました。タイトルは「培つた機転と社交センスで華麗なる客船の副船長に」となっています。

「モニー副船長」として紹介されました。タイトルは「培つた機転と社交センスで華麗なる客船の副船長に」となっています。

「モニー副船長」として紹介されました。タイトルは「培つた機転と社交センスで華麗なる客船の副船長に」となっています。

総会終了後の昼食を兼ねた懇親会は、場所を移し、ホテルか旅館を予定しています。(会費三千円)母校の独立行政法人化を一年後に控え、同窓会の更なる発展を期すため、できるだけ多くの会員のご出席をお待ちしています。

平成一五年度 本部総会のご案内

同窓会の皆さんにはお元気でお過ごしのことと拝察申し上げます。晚秋の小春日和に包まれて全国的な広がりとなつた紅葉の中、さぞ過ごし易い時期を迎えて居られる事と思います。

こちら、北海道では、一足早く冬の季節を迎えております。今日一月一六日、全道もなくマイナスの気温を記録致しました。雪

北海道在住の同窓の諸氏について、本年春にS25E春井岩男氏

の量こそ少ないけれど山も野も白一色に包まれました。昨日、車で登別から洞爺を経て帰る途中に越えてきたオロフレ峠の頂上付近は、岳樺の樹氷が旭をうけて輝いていました。山を覆い其はそれは目の覚めるような見事な眺めでした。枯れ木に花と言いますが、其のが全山に広がっている様は雄大そのもの世界でした。この様に地域による歳時記的な違いは、本当に驚きとしか言いようが有りません。

は、岳樺の樹氷が旭をうけて輝いていました。山を覆い其はそれは目の覚めるような見事な眺めでした。枯れ木に花と言いますが、其のが全山に広がっている様は雄大そのもの世界でした。この様に地域による歳時記的な違いは、本

を交通事故で亡くしましたが、この他に変わりなく平常に推移しております。

今年も北海道在住の同窓の皆さんに「一言連絡文」を寄せて頂く様、一月一〇日付で案内を発送させて頂きました。既に若干の返分を頂いておりまして、年内には編集を終え皆さんのお手元に届けられる筈です。皆さん意氣軒昂にして、酷寒の地で頑張つておられます。因みに昭和9卒Eの渡辺松男先輩の連絡文を、独断専行の形で申し訳御座いませんが掲載させて頂きます。「何時も連絡文お送り下さつて有難う御座います。昨年京都にて同期会を致しましたが、航機合わせて二五名でした、六〇名卒業して一割ですね。小生も九〇才になりました。まだ務めております。毎日四時間一人で車で配達の作業です。お元気でお暮らし下さい。」以上です。全国の同窓の皆さんもご自愛専一にてお過ごし下さる様祈念致しております。平成一四年一月一六日。敬白

京浜支部

支部長 田中 三郎

夏から冬に、一気に駆け抜けてしまったような今日この頃です。京浜支部のみなさまはいかがお過ごでしょうか。

今回の支部便りでは、一月一

五日に開催されました「同窓会京浜支部総会・懇親会」について報告させていただきます。

当日の同窓生参加者は四八名と例年より多少小人数の開催となりましたが、母校より佐藤学校長殿及び全日本船舶職員協会より川村会長殿が来賓としてご参加され、商船高専の独立法人化進捗動向について語つてくださいましたので、内容の濃い総会・懇親会となりました。

総会の席で、同窓会活動の活性化を図るため、①E-MAILによる情報の送受信、②同窓生によるグループ活動の奨励補助を提案したところ、川村会長殿・増田専務理事殿より「全船協」を最大限に活用して欲しいとのご支援もありましたので、今後の支部役員会で検討させていただきます。年一回の総会・懇親会は活動のバロメーターであります。日ごろから

静岡支部

支部長 堀三矢之助

のネットワークを大切にしていきたいと考えています。

尚、来年度は一〇月中旬頃の開催を検討いたしますので、クラス会の開催など、ご配慮をよろしくお願い致します。

総会・懇親会参加者は次の通りです。(敬称略)

佐藤静雄・根本明・片岡久雄・千々波天信・菊池正弘・増田信・岩田和雄・三沢茂明・山口義治・久我

原功一・菱田司・輕部欣四郎・廣瀬典樹・武部一三男・加藤久男・

授与式に出席。航機合わせ三一

可児鉄之・小林昭男・曾和聖一・

須藤郁夫・杏間弘雄・田中節男・

藤巻三年・水野正治・新小田豊・

酒井義明・海保幸人・大橋泰夫・

大橋秀章・菅原秀樹・清水敏順・

清水栄喜・鈴木巖・澤田秀樹・東洋・神谷晋吾・阿部亮志・諸山知

武師・鬼頭弘治・三河上・尾崎功

京浜支部連絡用E-MAILアドレス

noburo.mikawa@jp.nykline.com

事務局・鬼頭

Koji.kito@jp.nykline.com

三河

名中一八名が三重県出身でした。

航海コースに浜松市半田山出身の濱田洋君が居りました。三井造船へ就職のことでしたので、静岡支部の会員にはなりませんが、今後も活躍を期待して居ります。

当該支部長・本部理事会議があり、下記の課題を協議。

1、同窓会本部事務局の運営について

2、母校の法人化問題について

平成一六年までは、現体制でやつて行く事になつてるので、平成一七年度以降の体制について

平成一六年までは、現体制でやつて行く事になつてるので、平成一七年度以降の体制について

平成一六年までは、現体制でやつて行く事になつてるので、平成一七年度以降の体制について

平成一六年までは、現体制でやつて行く事になつてるので、平成一七年度以降の体制について

平成一六年までは、現体制でやつて行く事になつてるので、平成一七年度以降の体制について

平成一六年までは、現体制でやつて行く事になつてので、平成一七年度以降の体制について

名古屋支部活動報告

1、第一九回名古屋会ゴルフコンペ

第一九回ゴルフコンペがH-

ントリー俱楽部にて開催されま

れる方は殆ど支部会費を納入される会員です。二~三の例外はあります。平均返信回数率四五%)

一月一〇日返信リミットです

が、本日一九日までに五六通来ております。

清水港に航海訓練所の練習船が入港する度に表敬訪問をしたいと

思つて居るのですが、中々実現出来ません。特に日本丸、海王丸に

は郷愁を感じている同窓の諸兄は多いと存じます。次回入港時には実現出来る様努力致します。

名古屋支部

支部長 竹川 俊幸

夏から秋を飛び越えて冬の気候となり、体調を整えるのも大変な

今日この頃、会員の皆様如何お過ごしでしょうか。

今年もわざかとなりましたが、

年初今年こそは明るい灯にむかつてという期待も、世の中沈滞ムードが漂い今一つといったところです。

同窓会においても、学校独立法人化に伴う同窓会の運営等、これから難題山積といったところが出るのは愚痴ばかりがここで商船魂、くじけず来年に向かい皆様頑張りましょう。

(今回の通知は副支部長と相談の結果、一昨年よりの往復ハガキ通

知の返信者と過去にさかのぼり支

会費納入者のみに送りました。今回調べて解りましたが、返信さ

同会員は、乗船中につりリピンで見つけた「幸福の木」(学名ダラセナ・フランクス)を輸入販売することから農園業に転身、二年前からは、オオバヒルギ、オヒルギ、メヒルギ等の販売を行つておられた。インターネットで一本だけの販売にも応ずることです。アドレスは下記のとおりです。 <http://rakuten.co.jp/hinata/>

クラス会

78期航機合同 クラス会

松浦 肇

昭和三三年入学、三六年本科卒業の所謂国立八期生はもう還暦の年となりました。これを記念して航機合同のクラス会を行うこととなり、さる一月一七日(日)懐かしい鳥羽の地に集合しました。参加者は総勢四一名(うち二一名の奥様と恩師二名を含む)、一八時から鳥羽国際ホテルの「潮騒の間」を会場にパーティーは大いに盛り上がりました。

卒業以来三回目の合同クラス会でしたが、今回初めての参加者も

クラス会



78期航機合同
クラス会

昭和三年入学、三六年本科卒業の所謂国立八期生はもう還暦の年となりました。これを記念して航機合同のクラス会を行うこととなり、さる一月一七日(日)懐かしい鳥羽の地に集合しました。参加者は総勢四一名(うち一一名の奥様と恩師二名を含む)、「一八時から鳥羽国際ホテルの「潮騒の間」を会場にパーティーは大いに盛り

インターネットで一本だけの販売にも応じることです。アドレスは下記のとおりです。

メヒルギ等の販売を行つておられ
るようで、新聞にも報道されまし
た。

同会員は、乗船中にフィリピンで見つけた「幸福の木」（学名ダラセナ・フラグランス）を輸入販売することから農園業に転身、二年前からは、オオバニレギオニコリ

あり、卒業以来四〇年ぶりの再会となりました。また、今回から出来るだけ夫婦での参加ということにしたので一一名のことを

大きいに飲み食いながら昔話やお互
いの近況に話は弾み、最後は校歌・
寮歌の合唱と、二次会を解散した

策などを楽しみました。
今回のクラス会開催にあたって
は、鳥羽国際ホテルに料金・サー

のが夜一一時という有り様でした。
翌日朝食後解散としましたが、
希望者約二〇名のみ母校に立ち寄

小柳先生の楽しいスピーチを頂き
大いに飲み食いながら昔話やお互
いの近況に話は弾み、最後は校歌・
寮歌の合唱と、一次会を解散した

婦人の参加が得られたのが特色でした。
来賓の落合先生(同窓会会长)、

あり、卒業以来四〇年ぶりの再会となりました。また、今回から出来るだけ夫婦での参加ということにしたので一一名のど

学校だより

平成一四年七月一一日

○第四〇回東海地区国立高専体育大会は、陸上・野球・柔道が七月六日(土)・七日(日)、その他の競技が七月一・三日(土)・一四日(日)、女子バレーボール・女子バスケットボールが七月二・七日(土)、ラグビーが一〇月一・一月にかけて、種目別に各地で開催されました。結果はあまり振わず、次の上位成績のみとなりました。

空手 団体(型の部) 二位

卓球 男子シングルス 一位 13 里中 研一
バドミントン 団体男子 一位

○第三七回全国商船高専漕艇大会島商船で開催され、カッターはA・B両チーム共に一位となりました。ヨットは団体の部では四位でしたが、個人の部ではシーホッパーS-R級で、S2伊藤 秀郎が二位となりました。

○第四九回東海高等学校総合体育大会ヨット競技は、六月一・二日(土)・二・三日(日)、蒲郡市の海陽ヨットハーバーで開催され、国際FJ級に出場したM3柴原敦・S2伊藤俊樹、シーホッパーS-R級に出場したS2伊藤秀郎の三名が国体出場権を得ました。各人に落合同窓会会長から、金五千円の褒賞が授与されました。

心より

四年七月～一月

また、一〇月二六日(土)に芦屋で開催された、大学西日本新人カツターカンパニー競技大会に本校カツターカンパニー部はオープン参加し、海上保安大学校・神戸商船大学といった強豪を押さえ優勝しました。

○第六一回東海地区カッター競技大会が、一〇月二〇日(日)、本校で開催され、初参加の国立館山海上技術学校を加え、三重大学・国立清水海上技術短期大学学校・三谷水産高校・本校の五校・九チームで熱戦を展開し、結果は男子決勝戦で本校が一mの僅差で館山に敗け

は惜しくも入賞できませんでした。
○第三七回全国高専体育大会は、
八月八日(木)～一二日(月)に一関高専
主管で開催され、先の東海地区大
会で卓球個人二位となつた13里中
研二が学校推薦枠で出場しました
が、惜しくも一回戦で敗退しまし

した。第五七回国体は、九月二一日～二四日にかけ高知県夜須町で開催されました、出場した三名

Eアミゴー競歩競技支援システム

ムー」が最優秀賞を受賞しました。

○第三回高校生英語スピーチコン

テスト

一〇月一三日(日)、皇學館大學で

開催され、I3三名、S3一名が参加

し、S3島影が見事優勝し、I3演口

も審査員特別賞を受賞しました。

○アイデア対決・全国高等専門学

校ロボットコンテスト二〇〇二

今年の東海北陸地区ロボットコ

ンテストは、一月三日(日)、岐阜

アリーナで開催され、M科学生が

二チーム出場し、外山教官指導の

Bチームはベスト四に入りました

が全国大会出場は逃しました。

○エコノパワーライン岐阜

一月一〇日(日)、岐阜県の中日

本自動車短大で開催され、I科藤

原・江崎教官指導のI5学生四名の

二チームが参加し、Aチームは二

一六km/Q、Bチームは九三km/Q

の記録を達成しました。

○編入学試験

八月二六日(月)、学力検査が実施され、M科四年次編入に松阪工業高校三年生が二名受験し、一名合格となりましたが、後日、入学を辞退しました。

また、I科四年次編入に京都市立洛陽工業高校の二名、松阪工業高校の一名が受験し、洛陽工業高校の徳田紳伍君が合格して、来年四月に編入学することになりました。

◎大学編入学

本校卒業後も勉強を続けるため、

平成一四年度(平成一五年度四月編入学)も、左記の大学の三年次に卒業生が進学することになりました。

○京都大学工学部

長岡技術科学大学

岐阜大学工学部

東京水産大学

神戸商船大学

東京商船大学

立命館大学理工学部

京都大学工学部

三名

二名

二名

六名

三名

二名

七名で、機関コースは全員陸上と

いう厳しい状況です。

◎進学説明会

九月二二日(土)、二三日(日)の両日、

中学校生徒一五名、教諭三名、

保護者三〇名をお招きして、来年度入試のための進学説明会が実施されました。

午前中は学校全体説明を行い希望者は学寮見学、午後は志望学科別に、S科は鳥羽丸体験航海(両日で四九名乗船)、工業系学科は

班に分けてコンピュータ・電気・機械の実験室公開を行いました。

昨年に比べ、参加者は全体で四名増で、来年の受験者数の増加を期待したいところです。

また、これは別に、中学生を対象としたオーブンキャンパスを

一〇月二二日(土)、一月一〇日(日)、二月二一日(土)に実施し、「目で見てわかり体験できる電気・機械・情報」の講座を一回三〇名の定員で行い、工業系学科への入学をアピールしました。

○攻玉社高等学校の来校

一月一一日(月)、姉妹校・攻玉

社高等学校の一年生二五四名が教員一名に引率され、関西方面へ

の修学旅行の途次来校し、校相近藤真琴先生とその偉業を偲ぶため、近藤翁碑と百周年記念資料館を見学していきました。

○瓢箪工芸品

一〇点

S 19/E 下村甚一郎氏

○ボトルシップ(帆船)

一〇点

S 32/E 岡 久志氏

(中部ボトルシップ愛好会会長)

○海学祭

一一月九日(土)一〇日(日)、第三七回海

学祭が快晴の下、開催されました。

今年のテーマは、「瞬にかける魂(こころ)」で、二日間のお祭りにかけた学生の情熱が伝わつて

くるものでした。

○クリーンキャンバス活動

九月一日(水)・一月六日(水)両日の約一時間、一、二年の学生と教職員が参加して、学内と学校周辺及び通学路のゴミ拾いを実施しました。

また、九月九日(月)、落合同窓会

会長が手配した済美学園により、

商船三井(株)の一名を含めて海上が

商船学科の卒業式に備えました。

◎講演会

一〇月二三日(水)、秋季講演会として、長岡技術科学大学工学部機械系教授・鎌田重晴先生をお招きして、三、四年生に「マグネシウム合金の応用展開動向と本学における二世紀COEプログラム」

に所属するI4安田杏・I3浜口聖

明・安乗の小・中学生が熱演し、

大きな感動を呼びました。

同窓会作品展は、次の作品が百

周年記念資料館二階小会議室に展

示されました。

歌の段「」を同保存会・青少年部

が視聴覚教室で演じられたことで

す。演目「斜城阿波の鳴門」巡礼

歌の段「」を同保存会・青少年部

が視聴覚教室で演じられたこと

で



同窓会創立80周年記念史原稿募集

平成17年6月開催の本部総会に間に合わせ
よう」、「鳥羽商船同窓会80年の歩み」を発
行するべく準備中です。

会員の皆さんのお稿をお待ちしています。
同窓会がどのような歩みをしてきたかを後世
に伝えるのは極めて重大な使命と考えられま
すのでよろしく協力ください。

今回は「太平洋戦争」及び戦後の「引揚輸
送」に従事された年配の会員の体験是非収
録したいと願っています。

先に発行された「鳥羽商船同窓会60年の歩
み」及び「鳥羽商船同窓会70年の歩み」のな
かでも、「太平洋戦争」に関する報告があり
ましたが、まだまだ後世に伝えるべき体験を
お持ちの会員もあろうかと思われます。
また悲惨な海外引揚者及び引揚軍人の輸送
時にまつわるさまざまな困難についての記録
もぜひ残したいと思います。

次に「混乗船」におけるいろいろな体験記
事もぜひ欲しいところです。異文化との接触
はとくに問題がおこりがちです。「混乗船」
の体験会員は相当数に及ぶものと推定されま
すが、運航上の問題点や日常生活（食事の面
等）での課題等の記事をぜひお送り下さい。
最近では、海外勤務を体験される会員も多
くなっています。異国における勤務上や
生活面での問題点や楽しみ等についての記事
も欲しいところです。

さらに若い会員特に工業系の会員には女性
会員も増えていますので、女性会員からみた
母校での勉学や卒業後の社会体験等もぜひ収
録したいと願っています。

原稿は市販の原稿用紙20字×20行を使用し、
「縦書き」にお願いします。締切は平成16年
12月31日とします。ページ数は6ページ以下
にお願いします。

原稿を提出された会員には謝礼として「鳥
羽商船同窓会80年の歩み」一冊を贈呈します。

発行は平成17年6月予定です。